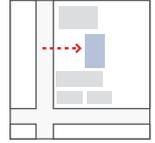


③ 道路から離れている場合



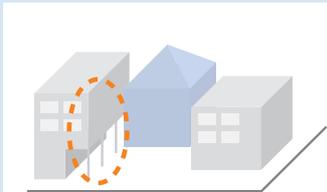
視界が確保されています

周辺の建物がセットバックすることで、歴史的景観資源への可視範囲が広くなり、通りから認識することができます。



引きの空間を活用した魅力づくり①

歴史的景観資源に隣接する建物は、側面についても色彩や形態等のデザインに配慮することで、お互いの関係を引き立たせることができます。

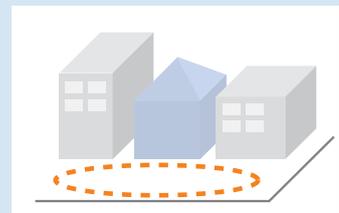


空間の一体性が生まれています

隣接する建物がセットバックしていることにより、歴史的景観資源の引きの部分と一体的な活用ができています。

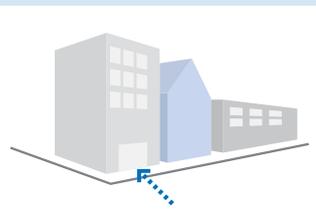
引きの空間を活用した魅力づくり②

隣接する建物をセットバックさせ、歴史的景観資源の引きの部分と一体的な利活用を行なうことで、魅力ある空間づくりができます。



建物の顔となる向きを歴史的景観資源の向きに合わせてと賑わいが生まれます

歴史的景観資源の入口や顔となる方向に、隣の建物の正面も合わせることで、歴史的景観資源が持つ表情の良さを活かした空間づくりができ、賑わいが生まれます。



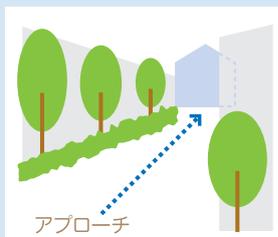
空間に広がりが生まれています

歴史的景観資源の広場と隣接する建物の広場を一体的に整備することで、空間に広がりが生まれています。



歴史的景観資源へのアプローチ空間づくり

前面道路との引きの部分に植栽などを行うことで、歴史的景観資源へのアプローチ空間を演出することができます。



歴史的景観資源の周辺の舗装

歴史的景観資源の引きの部分や前面道路の舗装を考慮することで、質の高い空間が生まれます。



空間が演出されています

引きの空間に植栽を行うことで、奥行きのある景観をつくり出しています。

景観 まちづくりの POINT

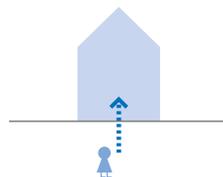
歴史的景観資源をじっくり見てみましょう

歴史的景観資源は、建物の正面から見た方が美しいもの、建物全体に特徴のあるものなど、形態や周辺のしつらえによって「見せ場」が異なります。

この特徴や違いを踏まえて、どこに視点を置き、その時どのように見えてくるのかを考えて、歴史的景観資源の「見せ場」を活かした景観づくりを進めることが大切です。

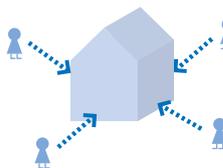
■顔のある歴史的景観資源

道路に面している壁面が特徴的である場合や、壁面の意匠や形態が優れている場合は、正面性を活かしてみましよう。



■建物全体が眺められる歴史的景観資源

建物全体の意匠や形態が優れている場合は、あらゆる方向からの見え方を意識してみましよう。



■遠くから眺められる歴史的景観資源

規模が大きいものなど、遠くから眺めることができる場合は、広い視点で捉え、街のランドマークとして活かしてみましよう。

